

2月26日(土)曇

奥武蔵顔振峠見晴台(538m)に移動して1.2GHzと5.7GHz F9ATVの伝搬実験を行いました。

1.2GHzでは12エレメントで炭の一種の備長炭をエレメントにした当局名付けてBinchotantennaを使用して埼玉県吹上のJH1CEFとM5C×2でQS0に成功しました。距離は26Kmでした。

5.7GHz F9 ATVでは51cmのパラボラアンテナを使い、一次放射器に二エレのピンチョータンテナを使って赤城移動のJA1QORと前記 JH1 ICEFの二局とそれぞれM5×2でQS0に成功しました。JA1QORとの距離は64Kmでした。

次いで5エレの八木型ピンチョータンテナ単独でJA1QORとM4C - M5CでJM1CEFとM5C - M4Cで5.7GHz ATVのQS0に成功しました。SHF ATVでピンチョータンテナを使っのQS0は初めてです。

3月18日(土)晴

奥武蔵伊豆ヶ岳山頂(851m)に移動して1.2GHz F9 ATVで東京武蔵野市のJA1MYSとM5C×2でQS0に成功しました。使用アンテナは10エレのピンチョータンテナを使用しました。

4月22日(土)晴

前記と同じ伊豆ヶ岳山頂に移動して51cmパラボラアンテナを使って丹沢経ヶ岳移動のJH1GEDと10.1GHz ATVでQS0してポパイのパイプ型一次放射器を使ってM5C×2で、一次放射をポパイのパイプ型ピンチョータンテナに替えて若干ノイズが入るがM5C×2でQS0に成功しました。

24GHz ATVもQS0にトライしましたが、映像のQS0はできず、FM音声のみ58×2でQS0できたただけでした。10.1GHzにピンチョータンテナを使っのQS0は初めてです。

4月29日(土)晴

埼玉県日和田山々頂(305m)と同山金比羅神社前(240m)に移動して前回不成功の24GHz ATVのQS0に再度トライしました。いずれも51cmのパラボラアンテナを使って前記山頂では一次放射器にピンチョータンテナを使用して吹上のJM1CEFと10.1GHzでM5C M4CでQS0。24GHzではポパイのパイプ型ピンチョータンテナを使用してM3C×2でATVQS0に成功しました。

山頂から金比羅神社前に場所を移し、経ヶ岳移動のJH1GEDと51cmのパラボラとポパイのパイプ型標準型一次放射器を使用してM5C×2でATV QS0に成功し、一次放射器にポパイのパイプ型ピンチョータンテナを使用してM4C×2でATV QS0に成功しました。24GHzにピンチョータンテナを使っのQS0はこの2局が初めてです。

これで当方のATV QS0可能な周波数全部(2.4GHzを除く)でBinchotantennaを使用しのQS0に成功しました。

このような非金属のアンテナでも電波が飛ばせることがわかりました。画像評価による映像の感じから標準型に比して約3dBの減衰があるようです。現在は64Kmが最遠ですが、うまくやれば00Kmくらいは可能と思われます。引き続き実験にトライする予定です。使用リグはFTV-120L,UTV-5600,UTV 10G,UTV-24Gでした。

De JA1AKA



4/29 日和田山々頂  
ピンチョータンテナ  
を使って24GHz ATV QS0  
に成功

4/22 伊豆ヶ岳山頂  
ピンチョータンテナ  
を使って10.1GHz ATV QS0  
に成功

